１．件名：東海再処理施設の廃止措置計画に係る面談

２．日時：令和４年５月２５日(水)１６時００分～１８時００分

３．場所：原子力規制庁１０階会議室　※一部出席者はTV会議にて実施

４．出席者

原子力規制庁

原子力規制部

審査グループ　研究炉等審査部門

細野安全管理調査官、有吉上席安全審査官、上野管理官補佐、
小舞管理官補佐、加藤原子力規制専門員

検査グループ　核燃料施設等監視部門

石井主任監視指導官

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

バックエンド統括本部　バックエンド推進部　次長

安全・核セキュリティ統括本部　安全管理部　施設保安管理課　マネージャー 他１名

再処理廃止措置技術開発センター　副センター長　他14名

５．自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

６．配付資料

資料１　ガラス固化技術開発施設（ＴＶＦ）における固化処理状況について

資料２　使用済燃料の搬出に係るふげんとＴＲＰの関係の整理について

資料３　ガラス固化技術開発施設（ＴＶＦ）の３号溶融炉の製作状況について

資料４　無停電電源装置及び直流電源装置の更新について

資料５　東海再処理施設の安全対策に係る面談スケジュール（案）

別紙

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	はい、原子力規制庁の加藤です。それでは本日の面談を始めさせていただきたいと思います。
0:00:08	早速、事前にお配りいただいた資料に基づきまして、ご説明をお願いいたします。
0:00:25	はい。現象以降から、国家部の森川です。それでは資料 1、ＴＶＦの古賀処理状況についてということで次回監視部会合をに向けた資料ということで本日説明させていただきます。
0:00:38	3 ページ目、本日の説明内容としては三つを大項目有馬一つ目前回の運転で、
0:00:47	8 期の原則は大雪事象への対応ということで原因と対策、あとは改善事項という形で一つ目の議題、項目事項という形で準備状況ということで、
0:01:01	次回運転に向けたスケジュールとして残留ガラス状況、あとは前回の運転を踏まえた部外者の対応、
0:01:08	あと次回運転までのホールドポイントという形で整理しております。三つ目として次回運転の進め方ということで、基本方針、あと三野計画後ホールドポイントでの確認事項という形で本紙をまとめております。
0:01:23	まず前回の点でそれは約 8 キロ体制上の対応と 4 ページ目以降となります。
0:01:32	まず 4 ページ目こちら白金族の体質原因ということでこれ前回の会合等でも示しておりますが、17 日のキャンペーン以降ですねの事象と、
0:01:43	今回原因調査ということで右に示しております。
0:01:47	その上でその右下ですねドライ状況を、
0:01:52	至った要因の絞り込みということで今回前回までの報告プラス流動解析を行って、最終的に原因として
0:02:03	どういうしたりすんだかっていうところを今回報告させていただきたいと思っております。
0:02:09	5 ページ目、こちらも法展開の会合で示した資料です。フローとして、
0:02:17	前回 19－1 キャンペーンでの流下停止事象、こちらのところで西側傾斜面上部に白金族が堆積したと。これが主要因として考えております。
0:02:29	その状況で 21 のキャンペーンを運転開始、リレーションの状況のまま運転開始たことによって西垣斜面上部、
0:02:37	に自然局の電流が流れることによって体積の近傍の温度が上昇して、
0:02:44	ガラス見ろ代わりに仕分け斜面上部の堆積量が増加していったということでこの状況で堆積物が、
0:02:52	進展していって自然共感抵抗が管理者に達したという流れで前回までも説明しております。今回この、

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:00	真ん中に書いてるところですね体積が増加していったっていうところをこちらについて解析を行っております。そちらの方を今回新たに説明したいと思ってます。
0:03:13	6 ページ目以降はこれ前回の会合でお示しますようにそれまで説明した内容ですね。
0:03:19	まずシナリオとしてＡと書いておりますウエノ二つ 0 点ですね、前々回の運転での流下停止事象、
0:03:26	このときに炉底加熱を繰り返して西側傾斜目に多く白金族が堆積したということ。
0:03:32	前回の運転では、西垣様の上部に対策頻度幻想にい流れる自然許可の前に多くなり、大勢料金の温度が上昇し、
0:03:41	その寄り添ってガラスの量があり石垣斜面上の体制を浄化していたという形で原因として考えております。
0:03:50	7 ページ目以降 7 ページ 8 ページ目 9 ページ目ですねここら辺はこれも前回、までの会合でお示した資料で、流下停止した。
0:04:00	時の炉内のイメージ。
0:04:03	一旦可決してきたところで止まったということ、ある程度のところ、途中段階止まったということで、白金族の方が女性に対する木下というところ、
0:04:14	8 ページ目は、この状況で数回方過熱したということで、
0:04:19	西側の方ですねの方に解析した各西側の方に白金族を解析してしまったっていうところここが、
0:04:28	前回 19 日三瓶の流下停止場に対するところの原因となってます。
0:04:35	9 ページ目、その状況で、
0:04:39	21 のパン編を開始したっていうことで、
0:04:42	左の真ん中辺りですね、炉底傾斜面上部のレベルの温度が高くなることによってガラスの流量が変化し、白金族元素が炉底傾斜面上部を確保体積を増えていったということでこれはあくまで
0:04:54	推定だったところを少し解析評価した結果を 10 ページ目に載せております。
0:05:00	こちらの堆積物なしと堆積物ありっていう形でモデルを作ったのを解析評価した値、結果となります。
0:05:09	堆積物なしの方ですと、
0:05:13	東西それほど温度差ない状況で流動についても、
0:05:18	全体的な流動を分布を示しておりますが、右側堆積物ありのところですね、この西側の傾斜便に堆積物を設けたところ、
0:05:28	流動分布で書いてますが、

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:30	ピンクの点線でいうところですね、ここの部分については、傾斜名西側傾斜面に向かって、下降流が生じているというところですので、
0:05:41	東に比べて西側の方がこういう下降流が多くなったということでこちらの方に堆積物が多く運ばれるだったらはっきりとか多く運ばれなんて、堆積物が、
0:05:51	促進したというふうな結果となっておりますのでこれまでの、
0:05:55	遠い目推定に対して絶対総会が確認できるような解析結果がえられたということで、今回の原因という形で考えております。
0:06:07	11 ページ目以降、それらの原因を踏まえて、次回運転に向けた対応ということで、
0:06:15	まず一つ目 11 ページ目のところ、こちらにつきましては、
0:06:20	西垣斜面上部にたまったまずそもそもの要因というのが、19－1 キャンペーンでの流下停止事象、
0:06:28	いうことで、こちらについては流下ノズル加熱コイルが接触したものと、いうことについてこちらに結合装置を交換してると、いうことです。
0:06:37	三つ目でまた次回温泉において白金族の堆積を助長した可能性があるように加速 4－1、おりますがこちらについても、
0:06:46	この影響を低減させるための対策を次回運転に反映したいということです。
0:06:50	まず主要因の対策、この結合装置の交換につきましては、これは 21 のキャンペーン前に、
0:06:56	交換してそこで
0:07:00	クリアランスを確認してると。
0:07:02	これは右の写真ありますように、大体 9.7ｍｍのクリアさんを確認してこの状況で 21 のキャンペーンを行って正常に流下できることを確認しております。
0:07:12	この栗山宗加来につきましては、今回 22 のキャンペーン前にも同様に、ｃｌｅａｒ図が確保されていることを確認するということで、こういう
0:07:21	確認をすることによって、流下停止所補助金つうのをこの生食に対する流下停止上は防げるんじゃないかというふうに考えております。
0:07:30	12 ページ目、家族要因ということで、
0:07:34	前回の運転において、これまでの運転に比べて
0:07:38	Ｉ供給速度が少し大きかったっていうこと。
0:07:42	と、あと主電極の電流が若干小さくなったっていうことこれを確認しております。
0:07:48	これらが白金族の堆積を助長した可能性があるということで加速要因として、以下の対策を講じるということです。

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:56	はい供給速度につきましては、前回の運転前にはＯＴＭの方で公社債を保有しない状況から、公社差益を受け入れてから、運転を開始するということで、
0:08:09	貯槽には廃棄が入ってない状況で、純水を張っていたということで、運転初期にはその濃度の薄い排気を供給されなかったと。
0:08:20	路線排気を供給する際、少し製造速度を一定にするために、はい供給槽を少し多めに供給したということでこういうことについて、
0:08:32	加速していったと考えられますので、これにつきましては通常の配供給速度で管理するということで今回運転臨みたいと。
0:08:39	もう一つ主電極関連につきましては、こちらのウエノ電力盤、これ高経年化対策として交換しておりまして、
0:08:48	交換した後ですね新規の電力盤の出力等を確認したところ、若干その出力に差があったということで、こちらにつきましては、実際の出力に合わせるような形で電力を管理したいと。
0:09:02	いうことで、従来の運転に対して、今回右側で書いてます真ん中に書いてますように、報告前回までの運転と同様な形で、少し見直しを図っていきたいという形で考えております。
0:09:19	13 ページ目以降が、白金族の堆積の管理指標を改善するということで、
0:09:26	少し改善策の方考えております。
0:09:30	改善の方は、補助電極間、
0:09:33	補正抵抗後事前境界の補正抵抗、こちらについては、改善前と改善後というグラフを示しておりますけど、改善前の方は少し
0:09:44	温度差等のばらつきがあるということで、これを伴いまして補正抵抗の変化の量が小さいということで、変化の傾向は少しわかりづらいというところがあったと。
0:09:56	いうことで、改善後ということでこちらにつきましては、サンプリングしてる温度ですね。
0:10:03	こちらを少し平均値等とって、ばらつきを抑えるというような処置を施すことによって、右側にありますように抵抗の変化、抵抗の変化量が大きく見えるということで、
0:10:17	より変化の具合がわかりやすくなるんじゃないかという形で少し補助抵抗の方の改善を図っていきたいと。
0:10:26	14 ページ目つきましてこちら主電極の補正抵抗についても同様なんですけど、
0:10:33	少しばらつきというのが見られているということで、こちらもサンプリングしてるデータですね、こちらのスポット値を用いたんですけど、少しその平均値化をするということで、

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:45	こちらについてもばらつきを小さくするということで、それによって、これまでよりもより、もう少し変化の傾向が見やすくなるんじゃないかということでこういうような改善を今回の運転では、運転で図っていきたいというふうに考えております。
0:11:01	15 ページ目。
0:11:02	この新たな監視項目ということでこちらも次回の運転では改善を図っていくということで、前回の運転で、白金族の堆積物に倫理が多く流れるということで、
0:11:15	そういうような倫理の流れですね、というのを確認しておりますので、その体制物に流れる電流値、あとはガラスの温度の低下。
0:11:27	こういうのにつきましても、合わせて管理していきたいという形で考えております。今回、こういうのを踏まえた上で、白金族の堆積状況の推定に活用、活用していくってことで、このような管理表についての改善を図っていきたいというふうに考えております。
0:11:45	16 ページ目以降これらの前回の運転までの原因と対策を踏まえた上で、16 ページ目以降を次回の運転に向けたスケジュールということで、準備状況を整理しております。
0:11:58	次回に向けた運転につきましては、まず残留ガラス除去ですね。
0:12:04	こちらの方につきましては、令和 3 年の 12 月 18 日から開始しておりまして、5 月 23 日月曜日の段階で、を想定した収支約 36 キロに対して 35.7 キロという形でほぼ、
0:12:20	想定通り、回収は終了してると。
0:12:23	5 月 23 日に炉内観察を行いましてガラス除去の終了の判断、基準を満たしてるところ等確認しましたので、それをもって残留が除去作業は終了と判断しております。
0:12:36	この残留ガラス除去終了後ですね、熱上げ向けた準備作業ということで①から④まで、
0:12:43	これらが熱上げに向けた準備作業として考えている項目です。
0:12:48	これらの作業のほかに、良案型マニピュレーターの立地にＩＴＶカメラというのがついて、この遠隔作業を行ってるんすけどこの遠隔ＩＴＢカメラに補修の必要が生じたということでまず、
0:13:02	遠隔作業で必要なカメラを、補修後に、先ほど言いました①から④の熱上げに向けた運転準備を進めていきたいということで、
0:13:11	運転改正については、令和の 1 月上旬ごろを目指したいというふうに考えております。

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:16	あと、運転準備につきましては下の折れ点二つですが、前回ガラスより工程以降、数学外傷が発生したと。
0:13:25	いうことで、こちらについては、布袋室次長として注意しておりましたが、想定される要因までは洗い出していなかったということで、復旧にある程度時間を要してしまったと言うことから、
0:13:38	今回こういうような事象を踏まえまして、いわゆる運転に影響が出ないように、いろいろ工程以降について重点的に漏れがないように抽出して想定される不具合事象として再整理。
0:13:49	それと通り点検整備を品の交換を実施しているところでございます。
0:13:54	17 ページ目こちら側の運転向けたスケジュールということで、
0:14:00	右側の赤で書いてるところですね 6 月 7 月 II につきましては先ほどのＩＴカメラ等の補修を踏まえた上で、若干その運転までのスケジュールを見直しするところでございます。
0:14:12	今現状としては除去作業終わって除去装置の後片付けを進めているところでございます。
0:14:18	この後の資料につきましては左側にＡＢＣという書いてるところですね、残留ガラス状況、あとは点検整備関係、
0:14:27	ついて順を追って説明したいというふうに考えます。
0:14:31	18 ページ目残留ガラス状況の方ですが、これまでの収支から 0．136 キロという形で、
0:14:40	計画しておりましてほぼ 5 月 23 日、飯野地点で 35.7 キロ約 99％のガラスを回収しているということでございます。
0:14:54	19 ページ目、こちらは除去の状況ということで、
0:15:00	上の写真ですね、西脇斜面上部、これダイヤモンドカッターとか 10％等で石垣斜面上部のはつりをしている状況。
0:15:10	下の写真につきましては炉底部ですね主、底部の電極と補助電極周りですね、こちらについてはつりまたは改修等をこういう工法を使いながら行っているという状況を説明してる資料となります。
0:15:25	20 ページ目、こちらの除去の終了判断ということで、回収量ではなくて実際作業の終了判断につきましては、
0:15:33	ＩＴＶカメラの映像により、ガラスに残留しないこと、あとは勉強表面確認できること、また 2 部が確認できること、これは判断基準としております。
0:15:43	今回につきましては、石垣斜面上部等に残留ガラスを堆砂確認されたということから、

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:51	そういうものを踏まえた上でエリア分けをして判断したい、しているという状況です。
0:15:58	その他あります①②③④ということで①が今回西側傾斜面に、今より多くガラスが残留した部分ですね。
0:16:07	こちらを①ということで丸 2 につきましては東側なんぼ側と基本的にここはもうほとんどガラスが付着してない状況ですけども、それについて、
0:16:17	あと③については谷部ですね、④が炉底部という形でそういうエリア分けしながら、除去の判断をしたというところでございます。
0:16:28	21 ページ目、このＩＴＶカメラの確認につきましては、過去のコールド試験等で、見え方について確認してます。
0:16:39	白っぽいところに黒い物っていうのがありますけどこの黒く靴見るのが付着してるガラスでバランスが付着しないと、真っ白く見えるということで、
0:16:48	除去中除去後っていうことで、基本的そのまま白くなってれば、本当にガラスが残留しない。
0:16:55	これが残っていると少し付着しているっていうこういうような色違いがカメラ上でわかりますのでそのカメラ上の確認を行ったというところでございます。
0:17:05	22 ページ目こちらが 6 月 23 日にどない観察を行った結果ということで、真ん中に平面図、上面図ですね、これを踏まえて各エリアについてＩＴ部、
0:17:17	カメラで確認して、それぞれ
0:17:22	ガラスが残留できること、また 2 分確認できることを電気を確認できることっていう形で、それぞれ判断基準を満たしているということを確認しております。
0:17:34	こちらの方で残留が初期の方は、5 月 23 日で管理を終了したというふうに判断しております。
0:17:42	23 ページ目以降、これ不具合対応、不具合事象の対応ということでまずいいとして、定期事業者検査法定点検、これ
0:17:51	年度内昨年度内で一応一通り終了しております。あと運転までにつきましては引き続き今年度分という形で、自主検査等は定期的に行っているところでございます。
0:18:05	シートということで 2 番目ですね両括弧 2 点検整備ということでこちらにつきましては、今回、
0:18:12	不適合とか是正等を踏まえた上で新たに実施をしても生じた項目、あと②として高経年化対策、丸として③として運転体制の維持ということでそれぞれについて、資料の方を整理しております。
0:18:26	24 ページ目新たに実施の必要が生じた項目ということでこれ 21 のキャンペーンでの沸石 5 をＪＳＯＣ関係ということで、

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:35	ガラスの所を女性層中古抜粋ポンプです。こちらの圧力短プラ等の閉塞によって、提示したものについてこちらにつきましては、
0:18:45	バックログタンプラの交換及びそれを踏まえた上で、圧力計Ａ配管との点検清掃を行っております。またそのダンパの調整方法等について手順書に反映し、進め方に諮るように、対応したいと。
0:18:59	これにつきましては、茂木校型を用いた助成措置の各作動確認を実施しておりまして健全性を確認してるところです。
0:19:07	開発統括部隊溶接の溶接の停止、こちらのＺ軸ですね先ほどにつきまして、
0:19:14	移動してしまって溶接が停止したという事象です。こちらにつきましては、
0:19:21	児童の補正プログラムという形で修正して、その他の
0:19:25	量の測定し思た映像の測定以外の作業についても、軸縦方向の移動ありますので、こちらにつきましても同様に、
0:19:34	補正プログラムによって修正しております。
0:19:37	こちらにつきましても同様に、茂木木幡用いたテスト溶接を行って動作確認して異常ない健全性を確認したいというふうに考えております。
0:19:47	25 ページ目こちらにつきまして搬送セルでの綴じ込み確認検査装置で、複数回連続して
0:19:56	汚染検出ということで再除染が必要になったということです。
0:20:01	今回運転終了後ですね、この汚染確認された検査装置内に汚染が残留してる可能性があるということで、一通り配管内の洗浄等を行って、
0:20:12	異常ないから安定して異常ないことを確認してると。
0:20:15	今回除染以降ですね、補正が検出されたということで、この除染値以降の搬送中等を含めて、汚染が付着しないように作業中の確認ポイントの改善を検討し、
0:20:28	教育訓練を実施しているところでございます。
0:20:32	26 ページ目がそれらのほか空想地関係の関係性を示しております。
0:20:39	27 ページ目こちらにつきましては運転中に想定される不具合事象への対応ということで、前回の運転での気づきの対応ということです。
0:20:49	こちらにつきましては、検討、今実施を進めているという中では、
0:20:55	ガラス原料供給設備これガラスファイバーカートリッジを容易に送る設備ですけど、外ファイバーカート立地から次の分地の発生が多いということで、
0:21:05	光センサー等の動作振りを経年劣化によって起こる可能性があるということから、こういう可能性あるところについては予備品等今交換しているところでございます。

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:15	あと同様にガラス原料を送る数等、装置ですね、こちらについても粉じんがたまってくることによって抵抗が上昇してしまうと。
0:21:25	いうような状況が確認される場合がありますのでこちらにつきましても、定期的な点検清掃、注油等の対応を行っておりますがこちらについての手順化し、
0:21:37	予防的な処置を図っていると。
0:21:39	あと先ほど汚染検出によって、複数回助成が必要になったということで、こちらを行うことによって、検査工程が渋滞してしまうというような懸念がありますので、今回
0:21:55	こういうスペースですね、組成なりガラス固化体飯尾を保有する保有するための空きスペースをプラス 2 本分確保するということで、
0:22:05	不要な資機材等を片付けて、収納スペースを確保したという形で、このような記事事項を今進めているところでございます。
0:22:15	28 ページ目こちらの不具合を踏まえた改善ということはちょっと整理中ではありますが、
0:22:22	先ほどガラス固化体工程性特に方法外傷等が多く発生したということで、
0:22:29	こちらについて重点的にその原因等新たに整理しているところでございます。
0:22:34	観点としましては、すでに注意する不具合事象へのその原因ですね。
0:22:39	例えばその更新設備等についての初期故障等を踏まえた上でその原因の追加、
0:22:46	あとその現場盤でしか表示された警報でありますとか、応答が表示されない不具合事象はこの気がかり事項として今洗い出して追加する形で考えているところでございます。
0:22:59	29 ページ目、こちらは前回の運転前に整理したフローですがこれ今回の
0:23:08	前回の運転を踏まえて新たに少し記載を見直しております。で書いてるところが今回の運転、前回の意見を踏まえた追加分ですね、2 次のキャンペーン以降の不具合事象の反映。
0:23:20	あとは、今整理しておりますが気がかり事象、こういうのを追加した上で、不具合事象についての対応を図っていきたいというふうに考えております。
0:23:30	30 ページ目以降は、こちらの高経年化対策と運転体制の維持っていうことで、
0:23:37	高経年化対策につきましては、今回前回の抵抗を大きな機器の設備の更新というのはありませんでしたが、いろいろそのインターキャンペーン中に劣化の兆候が確認されたものということで、河津木幡の吊具、
0:23:50	先ほど申したＩＴＶカメラ、あとＭＳのマニピュレーター後動かせるのインセルクーラーファン電動機ユニット、こういうのにつきましては、

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:58	予備品への交換等を図っていると、いうこと。あとは引き続き作業前の動作確認等を行っていきたいと考えております。
0:24:07	都丸さんと試運転体制の維持、こちらにつきましては、次回の運転について、ここは 3 交代、一般 10 名ですので 50 名ですね、こちらについてはもうすでに確保していると。
0:24:17	前回の運転、21 のキャンペーンの要員を基本的なベースとしておりますが、人材性の観点でより理解等実施しております。今回、
0:24:26	新たに 4 名の範囲を入れ替えるということにしておりますが、もうすでに階層別教育等を行って、必要な利益を補助しているところです。
0:24:35	班体制一般 10 名以外についても、運転員のコロナ感染より代替要員含めて必要な要員、今、日勤約 20 名ぐらい程度を確保しておりまして、
0:24:46	ＯＪＴとか運転経験させることで、技術所を含めて人材育成を図っていきたいと考えております。
0:24:53	最後の点ですが、安全対策に関わる訓練ということで、内部火災に関する初期消火予備ケーブル敷設訓練これ 3 月に実施しております。
0:25:04	さらに事故対処に関わる訓練につきましては、前回の運転前と同様に、熱上げ期間中はごとに実施する予定ということでこういう形で
0:25:12	力量を付与していきたいというふうに考えております。
0:25:17	31 ページ目これ今回行った高経年化対策に係る機器のレイアウト配置図となります。
0:25:25	32 ページ目 33 ページ目、これ次回運転までのホールドポイントということで、少し日割りで記載している資料です。
0:25:35	こちらにつきましては、ちょっと今日の面談としては雑誌出させていただきたいと思いますけどちょっと公開版としては一旦ちょっと、削除させていただきたいと思います。この後ケンムラ等を説明した上で、
0:25:48	会合等でこの資料出すかどうかってのはちょっと別途相談させていただきたいと思います。
0:25:53	で、
0:25:54	今、
0:25:56	現状 5 月 25 日ということでこの赤で書いてる運転準備のところ、これがＩＴＶカメラ両頭にベータのＩＴＶカメラの交換が必要になったということでこの作業が、
0:26:08	追加作業追加として実施しております。
0:26:11	これを踏まえてこのカメラ交換後に、それ以外の 4 の付帯配管の取り付けでありますとか、

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:18	先ほど説明した流下ノズル加熱行為のクリアランス確認、あとガラスカレットの投入、
0:26:24	あと台数継続インターロックの作動確認。
0:26:29	これ適用検査残ってるんですね、これらが進んだことを、ホールドポイントとして確認した上で、今のところは 6 月 25 日から熱上げを開始予定と。
0:26:39	あと運転中にしかできない方点検項目というのがありましてそれらが終わって、
0:26:45	ホールドポイントとして、
0:26:50	廃墟熊井の確認をした上で、配供給運転開始。
0:26:55	いう形で今 7 月上旬ごろを予定してるところでございます。
0:27:00	33 ページ目、こちらの先ほどの今説明したホールドポイントですね。
0:27:05	こちらにつきましては、基本、
0:27:07	的な根拠つきましてガラス部長が実施すると、この結果を、
0:27:13	運営会議等で諮ってセンター長の確認を入れると、この確認結果につきましては所長役員報告すると。
0:27:21	いう形で、それぞれ 010 ホールポイント対応を図っていきたいというふうに考えております。
0:27:26	ここまでが運転準備状況の資料となります。最後 34 ページ目以降が、次回運転の進め方ということで、
0:27:36	まず基本方針としては、早期完了を目指すということは変わりないということと、前回の運転で説明しておりますが、
0:27:49	衛藤。
0:27:50	次回のキャンペーンですね、こちらの段階的に進めていくということでまず 1 キャンペーン当たりの最大製造本数 46 本。
0:27:58	これを目指して複数の方のポイントを設けながら進めていきたいと。60 本の製造を目指して段階的に進めていくと。
0:28:06	二つ目ポツとして、運転準備がつくのかと確認した後、7 月上旬等にちょっと少しここの記載は、見直させていただきたいと思います。運転開始し、
0:28:19	令和 4 年度の定期事業者検査 5 年度末に終了させる必要があることから、終わりについては 12 月、11 月 20 日、運転終了としております。
0:28:29	運転が順調に進み 60 本製造した場合は 11 月 20 日まで運転を継続して製造本数をふやしたいと考えております。
0:28:38	工程を昨年進めていく観点から、白金族堆積情報をよりか、正確に把握するため、これまでの管理手法ですね先ほど言った補助電極とか浸透深津以降の改善、
0:28:50	またこれに加えて新たな監視項目として、自然局間の電流の増加傾向。

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:55	そういうのを踏まえた上で監視を行っていきたいと。
0:29:00	さらに最後の利点ですが、これまで 200 本のガラス固化体を 2 号炉製造して 3 回除去作業を行ってきております。
0:29:08	今後の運転データを積み上げて、余裕の運転経過に伴う白金族元素の堆積管理指標等の変化の傾向を把握していきたいと考えております。
0:29:18	35 ページ目これ当面の計画等、前回お示しした資料ですけど、若干ホールドポイントのところがですね今 10 本、46 本と 60 本まで、
0:29:29	三角星印を入れてその右に運転が順調に進んだ場合 11 月 20 日まで運転を継続するという形で記載を少し追記修正しております。
0:29:40	36 ページ目こちらの各ホールドポイントでの確認の項目ということで報道ポイント 1 これ 10 本製造した時点ということでこちらにつきましては、
0:29:50	白金ところ早期に堆積した対策の確認ということで温度の低下具合、あとは、白金族元素、
0:29:59	今度堆積物に流れる主電極の電流終わりですね、こういうのが軽減上昇しないかどうかっていうのをまず確認すると。
0:30:06	あと家族要因として電力とかは供給速度を開示するってことでこの効果ということで、それらが影響するような気相部の温度応答を確認していくということでこちらについて、
0:30:19	10 本、制度斜線で問題なければ、引き続き 46 本まで運転を継続していきたいと考えております。
0:30:28	37 ページ目、こちらの報道ポイント 2 ということで 46 本製造した時点ということで、
0:30:34	こちらについては、右側の方のグラフで書いてありますが、主電極、補助電極の抵抗の低下①その次が②ということで、
0:30:44	炉底低温への移行時間、この移行時間が増えた後に、③ということで自然局間の抵抗の低下というようなこういうような経過が
0:30:55	これまでの運転で確認されておりますので、このような管理指標をもとに、
0:31:01	60 分まで製造可能かどうかというところを確認しながら進めたいと考えております。
0:31:09	ホールＰｏｉｎｔ3 につきましては 60 本製造した時点ということで、
0:31:13	先ほどの大下であります佐野三浦が書いておりますが自然競合の傾向を低下と下ろせで運転の加熱時間の増加という丸井都丸さんの傾向、これ大体その
0:31:25	15 本とかそういう感じで考えられておりますのでこういうような指標を見ながら、さらに運転継続できるかどうかというところを確認しながら、判断したいと。

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:38	形でそれぞれのホールドポイントで、確認項目を決めながら進めていきたいというふうに考えております。
0:31:45	当 38 ページ目以降参考資料ということで、簡単に説明します 39 ページ目 40 ページ目ですね、これ 39 ページ目はそのはつりの、
0:31:56	前の情報で、座標軸から工具の座標軸カラーの、このようなイメージで、残留主査でこれを除去していたということです。
0:32:07	40 ページ目は過去の除去の前回の状況の映像であります。
0:32:12	41 ページ目以降これ前回の会合等でも資料付けてますけど、こちら解析の参考資料としてつけてます。
0:32:21	44 ページ目以降は舗装体裁不具合事象ということで、白金の堆積国家体の構成。
0:32:28	あ等主な不具合事象と、49 ページ目以降が、想定される不具合事象、
0:32:35	という形で、資料の方につけております説明内容となります。
0:32:48	はい。院長規制庁の加藤です。ご説明ありがとうございました。ただいまのご説明に関しまして、質問コメント等ありましたらお願いします。
0:33:00	ちょっと。
0:33:05	そうですけど。
0:33:08	いや、カメラ持っとるあれ。
0:33:13	一方、
0:33:17	これ見える。
0:33:29	を入れる。
0:33:32	見えますかね。
0:33:36	おじいが汚くて視察がないから、ちょっと薄くて申し訳ないんですよ。
0:33:42	今まで大体で、
0:33:47	まずね、
0:33:49	目次みたいなのを作って欲しいんですよ。前回のキャンペーンから、今回のキャンペーンに向けて何をしてきたのかっていうのを時系列で、
0:34:00	逆に、
0:34:03	とは、鏡会長、
0:34:08	麻生。
0:34:09	右田安慶名
0:34:15	向こうでも、
0:34:23	ああ、
0:34:26	ここでＯＫ。

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:29	アイル。
0:34:30	いえ、
0:34:33	どっかいいますね。
0:34:35	目次作って欲しいんですよ。これ、いかにもバラするらしい。
0:34:40	資料で、
0:34:42	事細かにどこかに書いてあるっていう資料になっていて、ある意味、いいっちゃいいんですけども、
0:34:51	まずスライド 12 倍
0:34:54	前回のキャンペーンから、
0:34:57	今回のキャンペーンに向けて何をしてきたのかっていうのを、
0:35:03	時系列で示してくださいと、次系列で、
0:35:12	これは、
0:35:18	加来です。
0:35:24	面倒くさいで、
0:35:28	若宮。
0:35:37	そういう、
0:35:41	ちょっと水が来たらっていうけど、
0:35:43	どうしようもないうちに時間、
0:35:49	原子炉機構ナカノさんの方に見えてますので、そのままお願いいたします。江藤。
0:35:56	時系列で出した時期ですね、まず前回失敗してから、
0:36:01	今回まで、
0:36:03	何をどうしてきたのかっていうのを、時系列で示すべきだとかそれで苦労してるっていうのを見せていくべきだと思うのは一つで、次系列の中で、
0:36:14	ちょっと今思いついたのはまずはつり作業してきましたと。
0:36:20	ではクリタれるとその写真稜線がよくわかんないとこあるんで、行政は何か破線かなんかでちょっと補足すぎるというのがいいと思うけど、あとその運転の分析してきましたと。
0:36:32	運転の分析しましたと。
0:36:34	ただ、
0:36:36	変えていこうといろいろまわしてるんだけども、多分これトータルで、
0:36:41	分析できる解析コードを作られてないんですよねまだ。
0:36:46	局所的にこういう事象が発生したと考えられる。
0:36:51	それを追認するようなコードはあるんだけれども、

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:55	当初からある程度一定の予測をして全体を
0:37:00	下げてもらう秋まで見通せるような解析コードはできてないはずなんですよ。
0:37:05	なので、
0:37:06	解析コードの
0:37:10	話はあまり表に出さなくてもいいと思います。私は、
0:37:16	私はね、ある程度一定の効果はあると思いますけれども、なので、解析行動どういう解析構造、
0:37:26	今度名前というよりは、こういう会計構造に使って何を評価したか。
0:37:32	ええって解析コードで何を評価できるのか、いいって書いてこれ何を評価できるのか、強いて解析コードで何を評価できるのかっていうのを、
0:37:41	しっかりと説明すべきだと思います。それが二つ目で三つ目。これは、そういったものを踏まえて、訓練とか、あとはその保全活動ですよね。
0:37:54	保全っていうのは何かというと、前回の失敗が後の後段でこけてるんですよ、後段で。
0:38:02	保持運転を継続したことによって、
0:38:06	等の状況はさせてるっていう原因もあるので、そういったことはないんだと、ないようにしてきましたと資料にもあるんですよ、資料にもあるんですよ。だけど、
0:38:16	こういうことをやってました。あとその他何かあれば、
0:38:21	まずその時系列の中で、これらをさくっと説明をして、その 1 人前でもう、
0:38:29	我々こんなにやってきましたけど、この 2 年間、逃げたっていう、別に手をこまねいてたわけじゃなくて、
0:38:38	やれることをしっかりやってきましたっていう説明ができてないんですよ。細かいんです。いきなり細かいいきなり技術的な内容です。これはどっちかっていうと、昔の保安院の最初にワーキングになったような資料です。これ、
0:38:53	そうじゃなくて、
0:38:56	やることをやってきたんですと、この 2 年間無駄にしてませんと、一切何してませんと、まずはつり作業時間または事実だろうし、
0:39:04	運転の分析っていうのも、本来長い時間かけてこういう解析コードを使って、こういうことをやってきました。それらを踏まえて訓練を運転訓練もしのマニュアル見直しましたとか、
0:39:18	あとは労働系状況を悪化させるような、覆い保全系のしっかりとつぶしました。その他何かあれば、でもいいですけども、まずそういったものをスライド 12 枚で説明ができるようになってなきゃ駄目で、

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:34	その上、個別にそれぞれのスライドで説明をしていくと、今のスライド直さなくていいですよ、出さなくていい。ホールドポイントのスライドはあれは、今まで全然問題ありません。
0:39:47	特にポートフォリオサイドはこれは認めますよ、これはいい資料だと思いますけど、ただ、
0:39:53	このガラス部へ、
0:39:55	院長の小原すぐもうその資料になってて、ここやけに怖いんですよ。いきなり広告やってるんで、
0:40:03	困窮させて駄目なんすよ。
0:40:05	この 2 年間無駄じゃなかったっていう説明をしなきゃいけない。長く、
0:40:11	大事なのは、この 2 年間、無駄にしてない技術細部にしていないということをやんなきゃいけないんですよ。
0:40:18	そこの説明がない。
0:40:24	何かとにかくやってきました。何かやってきましょうなんて、要所、
0:40:28	そういう説明にはなってるんだけども、そうじゃなくて、この 2 年間、
0:40:32	こういうコンセプトのもとで、
0:40:34	ある、こういうコンセプトのもとで、
0:40:38	こういう時系列で、この 2 年間っていうこの時系列の中で、
0:40:43	こういったその 11 は 2 から 4 までのことをやってましたというような話をした上で、それぞれはつり作業の増強についてはこういう状況です。
0:40:55	ここまで外れました綺麗になりましたと。
0:40:58	前回に比べるとかなり欠礼すると思いますと、いい状況ですと。
0:41:03	やっとるの状況が良い状況でありましたと。
0:41:05	ＯＫ、これはもう作業ＯＫです。組織として判断しましたと。
0:41:10	運転の分析も、遠いだけれども、こういう解析だけれども、こういうところまできてあるけど、
0:41:17	フルシュミレートはできないけれども、セミシュミレートの組み合わせで、ここまでの評価はできるんだっていうところまでは説明しないといけないと思うんですね。
0:41:26	その技術的な説明をした上で、じゃあ、今回の事象っていうのは何だったのかっていう分析をしましたと。それをやらないと多分意味がない、意味がない。
0:41:40	で、それをやって初めて訓練にはめる運転の訓練マニュアル公開場所とか、
0:41:48	この保全活動を変えましたとか、

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:50	特に相談のトラブルによって、工事運転が継続したことによって滞留して、ざるをえなくなってしまった。
0:42:01	いうところがありますので、そういったことは確実にないようにすると、でないようにするためにどうするか、例えばチェックリストを作りました。
0:42:09	衛藤。
0:42:11	上位の者が必ず回るようにしました。それでもいいですよ。だから長沢さんが現場最後、現場の部長をひきつれてね回診じゃないけどさ。
0:42:21	財テク表じゃないけどさ、プラットフォーマーっと並べてなんて言ってもいいですよ。
0:42:27	よしこよしこれ吉見指さし呼称でもいいですよ。そういう見栄えも大事ですから、2 枚も、そういったことをやってもいいです。
0:42:35	あとその他浮浪者本当何かあれば、その他にもいろんなことやってる、例えば 3 号溶融炉の話入れてもいいと思う。
0:42:42	この 2 年間無駄じゃないっていう説明をまずしなきゃいけないですよ。
0:42:46	それは一切さわらない。
0:42:47	もういきなり技術的な話に行っちゃっていて、
0:42:51	もう全くもって藤原部長、森川次長の資料になっちゃって、ガラス部の資料になってる。
0:42:59	いうふうに思います。私はそう思いました。なので、決してこの通りやってくれとも言いませんけれども、少し、
0:43:07	イントロダクションというかその導入部っていうのをどういうふうに、
0:43:12	幾度かっていうのは、
0:43:14	その戦略の問題なので、そういうことで、その推進室をよく議論をして、
0:43:20	見つかったよね。
0:43:23	どういうふうに見せていくのか、どういうふうに説明するのは、
0:43:27	形、
0:43:29	東海村或いは国ですよね、文科省そこにどう伝わるのかって話で今回は、
0:43:36	こんなに時系列 2 年か与えられて、宇田 2 年間じゃなくて我々ここまでつぶしてきたんです。だから、次の運転の 60 本っていうのは、結構到達できる可能性が高いんですよっていう説明になって繋がってくるんですよ。
0:43:53	わかります。
0:43:54	言ってる意味わかります私の。
0:43:58	折笠どうぞ。折笠。はい。理解しました。

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:03	そうですね目次だけしか書いてなくてちょっとエッセンスとか今言われたような形で少し
0:44:10	前かどういう観点で今回の前に向かってきた、受けてきたかというところをちょっとはい。今のコメントを踏まえた上で、少し資料の方を整理したいと思います。
0:44:21	個別の資料はいいんですよ。いつも個別の資料はいいです。あれはあれでいいです。
0:44:26	我々で必ず書いてるし、必ずどっかにその技術的なその会が載ってるんですよね。
0:44:33	その前に、
0:44:35	そこに導入に至る。
0:44:38	物語が欲しいんですよ。
0:44:41	なんでそれをや説明してるのかっていう物語がない。
0:44:47	そのあたりを説明しない限りは、やはり
0:44:52	規制庁ですけれども、
0:44:54	やはり同情をしにくいんですよね、やはり同情しなきゃいけないですから、皆さん道場もらわなきゃいけない。
0:45:05	やってきたことはこれだけはない。
0:45:08	正しいかどうかわからないけど宇田ではない。
0:45:12	同情をもらわなきゃいけないですよ、こんなに頑張ってきたんだと、一丸となってこんなに頑張ってきたんだとかそれだけじゃなくてね、保全の話なんですが、そういうのもいろいろ皆さんお手伝い施設管理するかもしれませんし、わかりませんけど、
0:45:28	そういうことを、
0:45:30	その組織一丸でみんなで取り組んできたっていうところ。
0:45:34	そういうところをしっかり伝えていかないと、おそらく今回の会合は意味がないです。
0:45:43	私、院長。
0:45:45	もうそれができればもうこれいいですよ。多分、中身は多分、ざっといつも聞いてる話なんで、問題ないと。
0:45:53	安里聞いたはずだよ。
0:45:55	特に何か問題があるような感じはしませんでした。また、割販法どっちかっていうと運転の話なんで、学科の方、イサーンられてるから、石田委員さん、ちょっと細かいお話あるかもしれませんけど、
0:46:07	私はともかく、このスライドを欲しい。
0:46:10	スライドなりその紙がホシすれば、

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:13	この 2 年間にするような思いで、
0:46:17	それを買うような思いで、
0:46:20	みんなが馬鹿にされたものも、
0:46:23	頑張ってきたんですと。
0:46:24	いうような、魂の叫び。
0:46:28	僕な資料が僕は欲しいなと思います。
0:46:32	私以上です。
0:46:39	はい。議長。森川です。ご意向を理解しましたので、ちょっとそういうふうな反映できるかどうかという形でちょっと資料の方を整理したいと思います。
0:47:08	加来菅野医師の方も、今、
0:47:12	後藤さんの言われた資料がつけば、
0:47:17	かなり説明的には非常にいい資料だと思うしこちらがとして管理する側として、それがあれば、確実に一つ一つだ。
0:47:27	わかるようになるかと思いますんで、それ、それが非常によろしいかと思いますすいませんありがとうございました。
0:47:34	なんか森下層×、
0:47:39	森谷宗です。おいしいから、それは別に合金を取るつもりはなくて、
0:47:46	せっかくやったことなんだから、
0:47:48	今回こそ失敗しないように何をやってきたのかっていう説明を、
0:47:54	すべきだと思うんですよ、僕は。
0:47:57	いやそれで失敗したらね、また考えましょうよやり方を。
0:48:06	いろいろ改善活動をしてるわけで、そういったこともアピールした方がいいと思うんですよねそのスライド 1 枚ですよ。
0:48:13	そこは勝負なんですよ。
0:48:15	細かく見ればと思ってるんですよ。細かく見れば載ってるっていう資料はあまり意味が感じらない。もう、その下の表の 12 倍で、もう中はちょっと困るはしょりますけど、結構、
0:48:27	こういうことがあるんですよっていう話で、その説明ができると。
0:48:31	なおよしと。特に理事長をもう新しくなっている今ガラス溶融炉の話も、うちとの間で結構問題になるし、
0:48:44	文科省も気にしてるから、

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:46	だから、なかなか説明しにくいんだと思うよね。だけど開発チーム話って一応副理事長の有井丹羽説明しなきゃいけない集から板倉さんがそこまで理解できるとは思えないので、
0:48:59	ぜひぜひこういうような資料を作っていただいて、
0:49:03	それはその 2 枚、或いは 3 枚で説明ができると。
0:49:09	いうようなことを考えた方がいいと思います。
0:49:12	はい。私以上です。もう、これについては、
0:49:28	はい。承知しました。資料のほうを準備したいと思います。
0:49:39	上本さんですか。
0:49:42	いや、もう公開してないですか。
0:49:47	規制庁上野です。というのは、
0:49:50	20、29 ページの不適合の
0:49:55	これは整理中ということなんですが、全体をこれ表した。
0:50:02	不適合の全体像かなと思うんですが、
0:50:06	この説明の順番だけなんですが、
0:50:12	いやいやであったっていうのが 550 件あってそれに今回発生したものが、
0:50:18	追加してた人とかっていうこれ全体像なので、
0:50:23	少し先に説明している方が、
0:50:27	わかるかなと思うんですが、いかがですかね。
0:50:34	はい。承知しました。ちょっと先ほどの表の紙の構成も踏まえた上で少しどういう順番で資料の方を説明していくかということを少し考えた上で資料構成の方を見直していきたいと思います。
0:50:49	ごめんなさいね。私、先にって言ったらごめんなさい。根井。
0:50:53	不具合事象の中で先にっていうことで、
0:50:57	方、24 ページの辺りだとか、
0:51:03	技術の継承ですわかりましたそうですね。会社の中でこういう考えのもとで、詳細がこういう対応してきたという多分そういう工程のコメントと思いますのでちょっとはい。そういう形で少し資料の方は構成見直したいと思います。
0:51:41	はい。はい。はい。はい。
0:51:44	はい。はい。
0:51:45	これはメーカーの、
0:51:48	いやいや、
0:52:05	あ、すいません規制庁有吉です。

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:08	堀川さんＨ29 ページは、あれですかねプラス効果以外で何か起きたもので今回結構足引っ張られてるんちゃうんですけど、そういうのも入ってるんですか。
0:52:24	内側の。
0:52:27	ガラス固化に関連するところは、すべてこの中で網羅するって形で今回
0:52:34	インターロックリストとかっていうところは基本的にプロセス系のところが多くあったっていうところで、そのガラス固化体の取扱工程で後ろの工程は、
0:52:44	ある程度機器の不具合っていうのは、救出はしたんですけど、少しそこのところについてその要因とかっていうところの深掘りっていうところが、多少やっぱり少しできてなかったっていうところありますので、そういうところを少し多めに矢崎幅広にリストアップして、
0:53:02	こういう不具合事象ということについての対応を図っていきたいという形を整理してるところでございます。例えば、一番下の括弧の括弧ＴＶＦ特有の機器っていうので、
0:53:15	あれはガラス固化以外に、間接加熱ちゃうな。
0:53:20	いや何かの車両の中のドッカー。
0:53:25	次、全く予想外のところがこけて、
0:53:28	足引っ張られたってのがあった気がしたんですけど。
0:53:31	どっちかっていうと、
0:53:32	権藤じゃなくて本来、
0:53:36	結局なんてとこうぐらいですか。何かやって、それが結果的に関係なかったのかもしれないんですけど、
0:53:45	そういうところで足引っ張られることはないのかな。
0:53:49	というポイントは入ってんのかなという質問なんです。
0:53:56	減少分一応そういうところを踏まえて幅広にちょっと確認は今してるところでございます。
0:54:03	またこれがそこの資料は、本当に岩永いっぱいは使って、なんで堀川フジワラ部長怒っちゃうんだけどさ、書いてるのよ。
0:54:13	よく読むと、
0:54:15	漏れがないんですよ。いい意味で、もう悪い意味でも漏れがないんだけど、非常に伝わりにくい中やってるから、いや、それでね、資料資料はよくできてても、また起こっちゃったら、私じゃないです結局そういうこと。
0:54:34	それはわからないなという気がすんでるから、うん。
0:54:38	いや資料の善し悪しもそうなんだけどほか、

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:42	考えるんですか。いや、何考えてるんですよねっていう、網羅性もね確かにちょっと少し。
0:54:51	見にくいだという気がした。
0:54:56	いや、次上手くいって欲しいという、いわゆる向け、
0:54:59	すいません、ちょっと申し訳ないなってきましたね。だから持田藤今度は大丈夫だよなんていうんだけど、ここは願いですから、いや、は、
0:55:09	コダカさんは抜けて欲しいという、もう電話どうあり、売り上がるわけだよね。
0:55:15	やっぱり国道、もちろん見ますから。
0:55:26	後キーじゃない。
0:55:34	すいません。以上です。
0:55:53	規制庁の谷津
0:55:56	今、準備状況をちょっと確認したいんですが、3、32 ページで、工程表が示されてまして、
0:56:05	今まで 6 月中旬で大変みたいな、
0:56:10	選挙が控えていたかと思うんですけど、
0:56:15	そ、それにでいうと、今結局どれぐらい遅れてるっていうことになるんです。
0:56:20	でしょうか。今回のカメラの交換だとか、マニプレータの交換に、
0:56:28	で、
0:56:31	どれぐらい遅れてるっていう、その当初想定よりどれぐらい遅れてるっていうことですかね。
0:56:37	はい、現職モリカワです。
0:56:39	当初はですね 6 月の 18 日から熱上げを開始する予定で、6 月の 30 から廃液供給開始っていうことで 6 月末に運転開始という形で、
0:56:53	説明してきたかと思います。実際 1 週間ですね、7 日の遅れとなってますんでこれ
0:57:01	どっか作業が当初 20 日ぐらいに終わる見込みだったのが、若干ちょっと 3 日ぐらい遅れたっていうのと、先ほど説明したのＩＴＢカメラの交換で、
0:57:12	4 日 5 日 4 日ぐらいですね、少し工程が遅れてトータルで 7 日間ぐらいの遅れで今、熱上げの開始時期を今設定してるところでございます。
0:57:24	はい、わかりました。それでルアー型マニプレータの不具合があるっていうふうに聞いてるんですが、
0:57:35	それは工程にはかかってこないっていうことですかね。
0:57:41	原則盛田の良案型マニピュレーターのＩＴＶカメラ。

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:46	ですので、大畠森田自体は特に問題はないですＩＴＶカメラですね用のか、塊でついてるＩＴカメラを使って量が貯まりβ動かすのでそのカメラが写りが映像が悪くなったっていうそのカメラの交換が追加で発生したということになります。
0:58:06	ここに書いてあるカメラはごめんなさいね。なんか、そもそ
0:58:14	なんかカメラは二つ故障してるってことなんでしたっけ。
0:58:20	減少思います。以前の面談で、ご説明したときは、除去作業で、ＭＳマニピュレーターこれで見てた数えについてのＭＳマニフェスト
0:58:34	たが、副長がありましてその交換に必要なカメラは別のカメラがあるんすけどそちらの方のケーブルの接続状態がちょっと不具合があったのでそちらの方のケーブルを交換して、
0:58:46	そのあとにＭＳマニピュレーターを交換して、除去作業を継続していたと。
0:58:51	その除去作業を継続していた途中で、この両案がたまにペーパーについてるＩＴＢカメラについても、映像の区長が生じたのでそのＩＴＢカメラを今回交換して、
0:59:04	除去作業後の運転準備の方に入っていくというそういうような流れとなっております。
0:59:13	はい、そうすっとごめんなさい、6 月 18 日につ上げを予定してたものが、6 月 25 っていうこと。
0:59:22	なので、1 週間遅れたっていうことなんですかね。
0:59:27	はい。現職も、
0:59:29	そうですね 1 週間遅れで今を進めているところでございます。
0:59:36	はい、ありがとうございます。
0:59:46	大丈夫。
0:59:51	1 週間遅れ 2 週間、
0:59:59	ごめんなさいね 7 種目で最初に
1:00:05	マスターてマニプレータのカメラが壊れたことによって 1 週間は遅れたってことなんですかね。で、プラスの 1 週間ってことですかね。
1:00:18	検証も、
1:00:20	もともと先ほど言った
1:00:25	ＭＳの交換でありますとか、それに向けたカメラの交換とかっていうのを、があったとしても、一応終了時期は 18 日から、もともとの 6 月 18 日からＨＩ開始ってことで、今まで進めてきております。
1:00:40	18 日からで進めてきたんですけど、先ほど言ったＭＳの交換とか、カメラの交換等を踏まえて除去作業自体が、
1:00:51	若干 3 日ぐらい遅れたということに加えまして、

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:56	ＢＳＭのカメラの交換を除去作業後に実施する必要があってプラス 4 日ぐらいで、当初計画について、7 日遅れですので、もともとの計画についてはもうずっと最初の方から 6 月 18 日頃に再開しておりましたので、
1:01:13	単純に 7 日だけですね遅れっていうのは、この計画に対しては 1 週間の遅れとなってます、はいわかりましたありがとうございます。
1:01:22	いや 6 月種別上げるじゃ想定。
1:01:27	運転。
1:01:28	三つ開けて言ってるの。ベンチ、規制庁のカトウです。
1:01:34	すいません機構さんの考え方なんですけれども、溶融炉の運転再開のタイミングっていうのは、熱上げの時期なんですかそれともガラス固化の、
1:01:46	実際にＨｏｗはを供給した時は運転再開って扱いになるのか。
1:01:51	すいません。ちょっと繰り返しの核になってしまうんだんですけれども、それはどういう考えなのかっていうのを教えていただければと思うんですがいかがでしょうか。
1:01:59	はい。大窪。運転開始につきましては要領は原料を供給した時点となりますので、もともと今までの会合でも運転開始は 6 月末ごろと言ってましたので熱上げが 6 月 18 日からですけど、
1:02:18	実際の原料供給、運転開始ってのは 6 月 30 頃を目標に今まで説明してきました。
1:02:24	今回熱上げの時期に 15 で 7 月のこのスケジュールでいきますと、大体その 7 日頃から原料供給します時点が運転開始となりますので当初 6 月 30 の運転開始が 7 月上旬の運転開始になるということで、
1:02:42	大体 1 週間の遅れへという形で運転会社原料供給は両輪量供給開始をもって運転開始というふうな形にしております。
1:02:53	はいわかりましたカトウですはいわかりましたありがとうございます。
1:03:19	はい、ありがとうございます。
1:03:22	原子炉規制庁の加藤です。他特になければ、次の資料のご説明をお願いします。
1:03:30	はい。原子力機構、笹井再処理センター技術部の小杉と申します。
1:03:36	資料 2、58 ページになりますが資料 2 について使用済み燃料の搬出関係につきまして、ご説明いたします。
1:03:46	前回の面談で事業指定変更に関してご説明した際に、
1:03:53	変更申請を行う前に使用済み燃料の所有権の所在等の法律上の関係の整備等、こういったことが必要だというご示唆をいただきましたので、
1:04:03	それについて整理した資料でございます。

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:07	初めのところはその整理した内容について簡単に記載したものでございます。2 ポツでございます。
1:04:15	使用済み燃料に関するふげんとＴＲＰ間の契約等についてということで、こちらに過去の経緯を整理してございます。
1:04:24	まず一つ目のことですが、ＴＲＰが最初利益も行っていた時、ワーキングメモを電力会社と同様に、
1:04:32	使用済み燃料の再処理件数約 15 年の組織間の契約という形になりますが、こちらを結んで対処量を行っていたと。
1:04:40	経緯がございます。
1:04:42	二つ目のポツでございます。役務運転が終了した後、こちらが電力との契約が終了したのは 2006 年の 3 月になりますが、
1:04:52	この後ふげん総ＴＲＰの再処理事務契約もなくなったという状況となってございます。これに代わりまして最初に関する取り決め書をふげんとＴＲＰの間で締結いたしまして、
1:05:06	こちらの取り決めにつきましてはＴＲＰが廃止措置に移行した現在も効力を有していると考えてございます。
1:05:13	で、この取り決め書の内容をこちらにつきましては再処理を前提としたものとなってございますので、
1:05:19	この中には使用済み燃料の貯蔵や変換に関する具体的な事項が含まれていないというものとなってございます。
1:05:27	3 ポツの方に参りまして今後の対応をそれから使用済み燃料の扱い、管理主体等について整理したところでございますがまず一つ目のポツでございます。
1:05:38	現在ＴＲＰに所蔵している、貯蔵しているふげん、使用済み燃料はふげんからＴＲＰに譲渡されたものではないというものでございますので原子力せ、
1:05:49	原子炉設置者であるふげんに帰属するものとなります。
1:05:53	二つ目のポツでございますＴＲＰは、再処理を行うまでの間受け入れた燃料の、
1:05:59	貯蔵に関する管理責任を負っているという状況でございます。
1:06:04	三つ目のポツでございますが、ＴＲＰが廃措置に移行し、再処理を中止した以降も、
1:06:11	次の搬出先、燃料の再処理委託先が決定するまでの間管理を継続しているという状況となってございます。
1:06:20	最後のポツでございますが今後、再処理委託先決定以降の使用済み燃料の取り扱い等についてちょうど、それから搬出時の室内作業を、外運搬等に、

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:33	対しまして、それぞれのふげん、それからＧＲＰの位置付けを明確にしましてふげん等ＴＲＰで取り決め書を、
1:06:41	定め、管理主体を明確化していくことを考えてございます。
1:06:47	説明としては以上でございます。
1:06:50	所長の加藤です。ご説明ありがとうございました。
1:06:54	何か、江藤この点に関しまして、敦賀本部の方から、補足で説明すること等ありますでしょうか。
1:07:05	はい。
1:07:06	竹内でございます。
1:07:09	この観点、ペーパーにつきましてはですね、今日ご説明する前に、敦賀本部とそれから一江藤税所の方と共通で会議を持ちましてですね、
1:07:24	内容についての共通認識を図り、それから方向性についても、同意したところでございます。
1:07:32	実態問題として、ＴＲＰでの燃料の管理が、まずいことをやっているわけではないんですが、問題点は、
1:07:44	ＴＲＰで再処理しないということになって、ふげん側が設置許可変更をしているにもかかわらず、
1:07:56	ＴＲＰの方がですね事業許可指定の変更とか、ああやっんがまだちょっとやっていなかったということと、それから一今話が出ました、取り決め書ですね。
1:08:10	これがですね前野木場になっていたというところが、問題点として挙げか改善点として挙げられているので、
1:08:26	取り決め書は、ＴＲＰとふげんと連名でやっているようなので、両方０でですね経営に
1:08:38	課題について挙げて至急可及的速やかにその取り決め書の改定を図ろうと考えているというところで合意したというところでございます。
1:08:50	ＴＲＰの皆そういう形でよろしいですかね。
1:08:55	はい。取り組み書の改訂に関しましては取り急ぎ内容今後進めていく内容を整理した上でそれぞれのＴＲＰ等を
1:09:08	ふげんの間でどういったところをやっていくかというところを整理して、早期に見直していくというところで進めていきたいと考えております。
1:09:17	そうすると取り組み書の形になったところで、そうすると位置付けがはっきりしますので、その取り決め書を根拠として、今ふげんにある燃料の管理、それからもしブース海外に

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:32	輸送するときにですね、ＴＲＰから燃料を運び出すという作業、これについても、位置付けが明確になるので、さ作業にあたっては法的な位置付けもはっきりしして実施できると考えております。
1:09:51	以上でございす。
1:09:54	一応規制庁のカトウですありがとうございました。それではただいまのご説明に関しまして質問コメントありましたらお願いします。
1:10:04	江藤細田です。武さんも現地に行っていただいて、
1:10:10	東海道も打ち合わせをしていただいたということなので、
1:10:14	衛藤。
1:10:16	ネガな部分がつぶれたという意味では非常によかったかなというふうに思っています。
1:10:22	その上で、やはりいわゆる未ですけれども、契約上措置されなかったことがあるという部分については、適切なものに、まず探していただくと。
1:10:35	いうことがまず大前提であるかなと思います。その上で、
1:10:40	やはりですね
1:10:44	再処理の事業指定の方は、
1:10:46	もう廃止措置の方は直ってるんですけれども、これ
1:10:51	中央線燃料農移送なりその所有問題は、平和利用に係る事項になるので、
1:11:00	やはりこれは原子力委員会２図るべきではないかというふうに規制庁としては現在思っているところでして、
1:11:07	なので、少しこのペーパーを基に、或いはもう少しグレードを上げてもらってからかもしれませんけれども、ちょっと少しうちの法規の方にもですね、
1:11:17	少しちょっと話を、を聞いた上で、最終判断はしたいと思いますが、移送の前にですね、
1:11:25	実際そのキャスクに詰めるまでは全然問題ないんですけれども廃措置計画の中でそこまで書いてあるでしょうから、
1:11:32	やれると思うんですけれども、実際に保税倉庫からですね、出す前には、事業指定の変更が必要であると。
1:11:43	いうふうに我々は１現在考えているところでございます。それで今の件、規制庁としての見解はいい良い所、
1:11:54	はい。はい、承知いたしました。すいません。技術部の小杉でございます。承知いたしました。もう少し整理した資料についても、前回ご示唆いただいているところがございますのでそちらについても、早急に整理した上でご提示させていただければと思っております。

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:12	ちょっと現場ですけどよろしくお願いします。
1:12:15	これは理解しました。
1:12:22	他よろしければ原子炉規制庁の加藤です。よろしければ次資料の 3 のご説明をお願いします。
1:12:34	ガラス固化分小高と申します。よろしくお願いします。鶴さん、59 ページ目でございますが、ＴＶＦの 3 号溶融炉の製作状況についてということで、衛藤さんが集うカーにですね、
1:12:48	最後の 3 ウエノ製作において一部レンガの大阪必要という旨、冒頭にてご説明させていただきましたが、
1:12:59	対応を進めてきておりましてこの対応状況を含め、今後ですね、スケジュールに同時
1:13:08	スケジュールについてご説明させていただきたいと思います。まず一つ目の丸でございますが、3 号の製作に関しましては昨年 10 月にいただいた認可、
1:13:21	ですねこれを受けまして、来年 1 月中旬完成を目指して進めてきているところでございます。これまで政策進めてきている中で、
1:13:34	次の対応を要する事象を確認していて、現在、対応を行っているところで、
1:13:41	ございます。具体的には下の 4 項目ということで、レンガブロック耐食性耐火レンガの再生策、あと発電対策痙攣が、断熱原画の再計画、あと一番下ですがケーシング深層の調整ということで、
1:14:00	それぞれ対応しておりまして、詳細に関しまして、添付 1 ということで、一覧ヒロ採用内容を示しておりますので、ご説明させていただきます。
1:14:11	項目 1 いうことでレンガブロック耐食性耐火レンガの再生活動に関しましては、文章にもちょっと図のほうで説明させていただきますと、61 ページ目に
1:14:25	溶融炉の 3 号炉のですね、各構成部品の配置ということで、3 号の断面図載せております。耐食性耐火レンガというのは、この赤く塗ったところですね、実際に溶融ガラスが接触する部分を構成する耐火レンガでございまして、
1:14:42	この中でちょっと再製作が必要となったというところが、この絵と、
1:14:49	黄色のところに底部電極とございますが、この底部電極ふうに冷却空気を供給する配管、この青い配管ですね、配管の前に取りつけるんレンガのブロックが再製作となったということで、
1:15:03	具体的な状況といたしましてはその次のページ、6、62 ページ名の上の大津のところでございますが、
1:15:14	再製作となったのは、この右上に示している二つのレンガブロックでございます。

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:24	構造といたしましてはこの青、青く塗った冷却空気ハイカーんを、この辺がブロックの何位貫通させて取りつけるというようなそういうことで
1:15:39	設計を進めておりましたが、この青い配管のところにの右側の方ですね、千葉部ということで、外径 75 ミリのものつばぶーさあり、
1:15:52	それに対してレンガブロックの配管の貫通孔がですね、内径 65ｍｍということでちょっとこのつば部の存在を罪の設計上ちょっと見落としておりまして、通らないということがわかりました。
1:16:08	これに関しましてその対応の内容といたしまして、この
1:16:15	耐食性耐火レンガに関しましては農機のかかるものですので、予備能ブロックを多く手配しておりましてそのブロック、
1:16:26	をですね、切り出して、再製作を行い、構造をですね、このような貫通させる、
1:16:36	構造から、この分割して、この配管をですね、両側から挟み込むようなそういう構造に皆をしております。
1:16:46	なおですね 2 号による現行の日本医療におきましては、今の単品構造を下の図三つに示すような分割構造になってるんですけど、
1:16:58	今回 3 号溶融炉の設計に当たりまして、より効率よくですね、出口倉岡が行えないかということで、いろいろちょっと改善を
1:17:09	行ってくる中で、このようなやはり大構造にすることである程度、地区労を効率的に行うんだろうというふうに考えていたところですが、このつばぶーの存在を見落としてたという次第でございます。
1:17:27	添付 1 に戻っていただきまして、これに伴って製作工程の影響といたしましては、
1:17:36	全体的にですね、約 1 点、いろいろな製作工程がですね約 1.5 ヶ月遅れる見込み見通しということになっておりまして、後程ちょっとスケジュールの方を説明させていただきます。
1:17:49	次の対応内容といたしまして 2 番目の発熱体遮へいレンガの再製作ということで、61 ページ名の、のところ配置図のところですね。
1:18:01	右上に写真が載っておりますが、このいろいろの上部に取りつけるこの、
1:18:11	と灰色の大手がですね 5 枚、板状のれんがこれが発電大変ガーとなっておりまして、安全管理措置ちいとですね対応を行うための間接加熱装置と溶融炉の気相部の間に設置するものでございます。こちらのレンガのですね、
1:18:30	物性値の確認検査において、圧縮強さ等のですね、測定器の一部が規格中を逸脱していることが確認されまして、
1:18:42	ところに、これについて、

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:47	これにつきましては、もともと物性値確認を、に作っていたサンプルブロックのですね、政治製造条件に不備があったということで、
1:18:57	このサンプルブックの製造方法を見直して、再製作を行って行ったところでございます。で、現状ですね、
1:19:07	先週、衛生先週までにケーシング内にですね取り付けの方完了しておりまして、先ほど図の中で見ていただいたようなこちら
1:19:19	右上の写真は 2 号溶融炉を作った時の写真でございますが、3 号用の応接状況としても、このような状態まで製作が、
1:19:30	熱田さんへ来、
1:19:33	全体再編が取りついてこのような状態になっている状況となっております。
1:19:40	で、3 番目でございますが、添付の 123 番目の増でございますが、断熱レンガの再製作ということで、断熱電話というのは、61 ページ目の図の 1 の一番下のですね、紫色の
1:19:56	様へのですね一番下に設置される煉瓦でございます。こちらの煉瓦につきましても、物性値確認検査においてですね、
1:20:07	熱伝導率の測定値の一部が規格値を逸脱してることがお確認しております。
1:20:14	こちらの断熱にはですね、一般的に流通しているものでございまして、念願メーカーが所有している在庫品の中からですね、規格値を満足している製品を大手開始、こちらを切り出して再製作の方が行って
1:20:33	おり、4 月の上旬に上旬にですね、すでにケーシング内に取り付けており、
1:20:39	61 ページ、まず農地能下、右下の写真に示すような状況、状況となっております。
1:20:52	最後ですが、項目としまして 4 番、ケーシング寸法の調整ということで、図に示す通り溶融炉の構造といたしましては、このように耐火レンガをですね、
1:21:07	ケーシングと呼ばれる金属の板で作ったその波高を囲むようなそういった構造となっております。
1:21:18	このケーシングの表面にはですね、リブと呼ばれる補強用の飛田主だがついている。
1:21:26	公道となっております。
1:21:29	で、このケーシングの本体ですが、立坑 1.9 メーターで高さがですね約 2.3 メーターのものなんですけど、
1:21:40	こちらのステンレスの溶接時の熱影響により、ケーシングの外径の一部、ケーシングの上端からですね、約 250ｍｍの範囲になるんですが、
1:21:53	ここで一部変形が生じておりまして、変形高サードですね、最大約 10ｍｍ、

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:02	に変形しているということを、3 月に確認しております。変形に関しましては、ケーシングの上部に局所的に荘司たものでございまして、
1:22:20	東洋色の数税の耐震上の強度、断熱でいやガラスの閉じ込め性、
1:22:28	またあと、既設 II のですねとりあえず、こういったものには影響を及ぼすものではございませんが、
1:22:36	ケーシングの外形寸法が、野瀬土佐、最終的にですね、ケーシングのペインターを溶接した後ですね、外形寸法を、
1:22:49	もう寸法検査を行うんですが、その時に製作公差をですね、
1:22:53	公園超える恐れがあるということから、ケーシングの
1:22:58	外径先方の製作公差におさまりを、ケーシングに取りついてですね、胃部の高さを調整して寸法の調整を行うという。
1:23:08	ことを行う予定でございます。こちらの方 66 月に石野予定としております。
1:23:17	なお先ほどですね、要領の性能には影響がないといったところについて注釈つけさせていただいておりますが、強度に関しまして※1 ということで、
1:23:31	この返金というのはですね、ケーシングの剛性、ケーシング全体の断面二次モーメントをの変化をですね、保守的に評価するため、この
1:23:42	変形に関しまして、ケーシング全体、上段から下端までの変形と想定し、実際はケーシングの上部のところだけなんですが、ここは
1:23:54	簡易的に評価できるよう、極端に上端から下端まで
1:24:00	講座に対して、約順位変形したというようなそういった想定のもとで簡易的に耐震評価を行っております。その結果ですね、発生応力の増加に関しましては
1:24:15	約 4%ということで、設計地震動によるケーシングの最大発生応力に対する許容応力の裕度が今現在 20%ということになっておりますので、
1:24:28	これに十分に収まるということを確認しております。
1:24:33	また※の 2 番ということで断熱性、閉じ込め性ですね、こちらに関しましては、溶融炉の
1:24:45	ケーシングの内側にはですね、断熱膨張吸収吸収材というものが設置されておりまして、その内側に耐火レンガがあるんですが、
1:24:56	この大谷校長吸収材とを耐火レンガの間に流し込む断熱キャスター分、いわゆるセメン等の読みでといて
1:25:07	トイレ流し込むセメントのようなものなんですけど、この厚さを調整することで
1:25:15	耐火レンガの新法

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:19	を確保するというようなそういった設計となっておりまして、ケーシングの変形に対して耐火レンガ等の設計先方にそういう、そういった設計なので、変更は生じつつ、
1:25:30	断熱で言えばその閉じ込め性に影響はないぞ、大城内藤をしております。
1:25:36	※の 3 ということで
1:25:40	既設との取り合い性に関しましては、3 号溶融炉をですね、こちらの 3 号炉の本体を動かせるに据付後、3 次元計測ということで米田でとりあえずの撮影を行いまして、
1:25:57	既設とのとりあえず、ほう素を測定し、測定データを基に取り入れ配管等の製作を行うので、この今回のこの変形に関しましては既設の取り合いに影響を与えるものではございません。
1:26:15	ということであと 3 号の製作工程の影響に関しましては 1 番目のところろうで、
1:26:24	1.5 ヶ月遅れが生じるということでございますから、2 項目から 4 項目目に関しましては、これに伴う追加の遅れというものは週次ないものずつ、庄子なものでございます。
1:26:38	本文戻って
1:26:42	いただきまして、二つ目のマルですが、上がブロックの再製作に関しましては作ろうの工程上、クリティカルパスになっており、レンガの面がブロックの再製作により、治療工程の、
1:26:56	築後以降の工程が約 1.5 ヶ月遅れる見通しであるということで、
1:27:04	具体的には完成実施が来年 1 月の中旬から 2 月末になるということで、添付 2 ということで、63 ページ目になりますが、
1:27:17	3 号溶融炉の製作に係る全体のスケジュールを締めております。
1:27:22	で、赤字で書いたところが変更後のスケジュール等なっておりまして、耐火レンガ等のところですね、耐食性耐火レンガの境界加工の左、右側に再製作ということで赤字で書かせていただきましたが、
1:27:39	これに伴って約 1.5 ヶ月煉瓦地区労の終了時期がですね、延びることになっております。これに伴いまして、そのあとの工程が 1.5 ヶ月ＩＩ
1:27:54	ずつ遅れまして、
1:27:57	最終的に、一番下のですね、作動試験、カッコモックアップ試験等と書いておりますが、この作動試験が管理の完了時期が溶融炉を本体の完成時期となっております。
1:28:11	これが当初 1 月、来年 1 月の中旬となっていたところが、2 月の末になるという次第でございます。

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:24	別所衛藤本文の方、29 ページ目の方戻っていただきまして、
1:28:32	このような沖縄の中で三つ目のマルですが、今後ですね、3 号炉の製作を進めていくということでこの製作工程に当たりまして、同様の耐同様の対応を要する事象がまた生じて、
1:28:49	当然に手戻り等が生じないようにですね、製作メーカーへのですね、立ち入り調査の方を行っております。
1:28:59	この立ち入り調査の中で、メーカーが提示している品質保証計画書、これに基づいて、設計管理、製造管理、調達管理等がですね、
1:29:11	適切に行われていることを確認していうところで確認したところでございます。
1:29:20	一番下でございますが、このような遅れがな。
1:29:26	で、バランス硬化処理のですね、早期完了に向け、現行 2 号溶融炉の運転状況によってはですね、速やかに作業用の更新しなければいけないという状況になってきますので、
1:29:38	速やかに更新できるよう、3 号炉の準備を進める観点から、国領取り戻せるよう、今後のですね、現地、モックアップ試験等にですね、持ち込んでからの現地据付。
1:29:52	稼動し企業の部品取付
1:29:56	いや、シャドー試験に係るスケジュールのですね、要請を図っていきたいと考えております。説明は以上でございます。
1:30:09	原子力規制庁の加藤ですご説明ありがとうございました。ただいまの説明に関しまして質問コメント等ありましたらお願いします。
1:30:18	じゃあ、
1:30:21	規制庁の駒井です。60 ページ目でちょっといろんな、
1:30:29	項目が書いてあるんですが 4 番目のケーシング寸法の調整っていうところで、
1:30:39	ここなんか溶接時の熱影響で、製作公差に対して最大約 10ｍｍ、
1:30:44	ていうところで間違いが出てきてしまったということで特に問題ありませんということで書いていただいてはいるんですけれど、
1:30:55	※1 のところはちょっと気になったんですけれど、
1:30:59	なんか溶接変形でケーシングの剛性が変わっ変化を保守的に評価して、発生応力の増加。
1:31:09	約 4％っていうちょっと記載していただいてるんですけれど。
1:31:14	これって
1:31:16	4％増加したらどこどこのことを、大体どの辺のことを言ってるんでしょうか変形は上の方で起きたんですよね。これ、何かよくわかってないんですけど、どのことをどの辺のこと言ってんでしょうか。

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:31	小高でございます。変形は平均の業務の方で、荘司他業務の時期で、清西田ものでございますが、今回ですね、早急にですね
1:31:49	伊勢調度に影響がないかどうか確認するために、ちょっと簡易的に見るために、全体的にちょっと準備減らした。
1:32:00	はばから状態まで全部住民へチラシ減らした。
1:32:05	要は、ケーシング容量をちょっと
1:32:09	縦長にしたような形ですね、そういうふうになったということを想定して、快適にその大手計算、
1:32:18	いろいろ現場の盤面の二次モーメント等が、
1:32:23	減少したというような状況。
1:32:28	で、応力を精査したもので、実際、最近評価に関しましては、阿波多数で発生応力の分布を求めて、
1:32:40	やるものでございますが、今回ちょっと変えてますので、ちょっと発生箇所というところとしては全体的に、
1:32:48	応力が 4%上昇したというような評価としております。
1:32:54	はい。すいません規制庁の駒井ですご説明はわかったんですけど結局ね 4%増えたって今快適にって快適にやったのは書いていいんですけれど、要するにどこどこに影響が出てきたのかっていうのは、
1:33:10	ちょっと我々イメージ全然できないので、
1:33:14	この辺に 4%ぐらいちょろっと増えたっていうのが、何かこう、
1:33:18	口頭でもいいので、どこにどういう入れてたのかちょっとごめんなさいよくわかんなかったんですけど今のところで、
1:33:28	1 台ネジメントというところろうですので、今回その 4%増えたというと、溶融炉の
1:33:37	数ページ下端部分ですね、素行、
1:33:42	の発生応力が 4%増えたというような、ちょっと簡易的な評価の中ではそういう、
1:33:50	うん。
1:33:51	評価としております。
1:33:53	そうするとそのパターンってことはですね、一番変わるというか、重要なところ。
1:34:03	底部に考えてもいいんですか、ちょっとその、
1:34:07	要するに、
1:34:08	どういう影響出そうなのかっていうところからちょっとこれまで 4%で、片野小っていうだけ私もちょっとごめんなさいよくわかったないんですけれど。
1:34:20	要するに米多比とかそういったものというと、

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:25	そうです。一言で言うと、4%の話は、
1:34:31	危なくないんですかって話です。それが、
1:34:37	その理屈が何かちょっと読み取れないっていうのが内野駒井の質問です。
1:34:43	だから、断面二次モーメントがどうだったじゃなくて、4%上がって、運転履歴とかも考えたときに、
1:34:50	それは無視できるものなのかどうなのかという問いかけだと思ってください。
1:34:55	それについて、回答が難しければ、後日で結構です。
1:35:05	はい。すいません整理して後日回答させていただきます。
1:35:12	申し訳ございません。
1:35:14	いや誤っていた。それ全然行って、
1:35:20	すいません私からはちょっと以上です。
1:35:32	現職政治の方です他よろしいでしょうか。
1:35:37	はい、じゃあよろしければじゃ最後最後というか資料の 4 のご説明をお願いします。
1:35:43	資料の 4 これ 1 回多分説明いただいた内容で指摘踏まえて直したところがあると思いますので、ちょっと直したところろう押しに絞ってご説明いただければと思います。
1:35:55	はい、原子力機構を買収センター施設管理部のこの別紙で、今言われましたように前回通り直したところですね前回ご助言いただきましてですね、
1:36:06	廃止段階における最終施設で想定される事故シーケンスを踏まえて、20 秒間欠損しても問題ないというところを記述することということですので、資料 4 のですね、
1:36:20	64 ページ、4 ポツ、両括弧 1 のですね、
1:36:25	無停電電源装置というところの場所について、想定すべき事項として高放射性廃液の放射熱除去機能の喪失による蒸発乾固、
1:36:37	を考慮しています。更新対象の無停電電源装置からの距離を受ける設備というのが放出管理設備でありましてＨｏｗやＴＶＦの
1:36:48	高放射性廃液の崩壊熱除去ですとか、閉じ込め機能に係る設備が究明していないことから当該伊勢装置の基本方針等の内、非常用発電機が起動するまでの約 25 万の給源停止が生じたとしても、
1:37:05	はぐの加熱状況及び閉じ込め機能に係る安全機能には、影響証言というふうに記載しております。また、さらにということで恒設の汚染管理設備への給電機能が短時間で回復しない。
1:37:21	状況におきましてもなお、状況で萩野須藤のこれが生じたといたしましても、

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:28	事故対処設備として配備してますか半額の排気モニタリング設備ですとか放射線測定機器により、必要な監視測定の可能な対策を講じていることから当該弁電源装置の機能喪失というのは事故対処の
1:37:43	有効性が影響しないと、いうふうな記載をしてございます。同じく、67 ページの表 1 にもですね影響ということで右端に、
1:37:54	同様の内容について記載をしてございます。
1:37:59	変更自体をです。
1:38:04	院長規制庁の加藤です。ご説明ありがとうございました。ただいまの説明につきまして質問コメントありました、お願いします。
1:38:23	衛藤大園です。
1:38:26	4 ポツの（1）なんですけど、
1:38:30	これー、
1:38:31	買ってる内容自体は技術的には問題ないと思うんですけどね。
1:38:36	ただ当該装置の機能喪失に伴い非常用発電機が起動するまで約 20 秒間の給電停止が生じたとしても、
1:38:44	安全機能に影響は生じないって書いてるんですけど、これは磯ちい計画の自己評価ではそういう評価してるんでしたっけ。
1:38:59	織り込んでんでしたっけ。
1:39:03	移住機構の岡野です。こちらの無停電ですとか直流電源装置はタグのそういった安全機能に関係するところに給電しておりませんので、全く
1:39:17	影響ないということになります。
1:39:20	いや、だから
1:39:24	いや、何かすげえまどろっこしく書いてるなと思って、単に言えば、その（1）についても過去についても安全機能を有していないということなんでしょ。
1:39:35	その通り。
1:39:36	性能維持施設としてはあるんだけれども、安全機能を有していない、いわゆる常用系だから、
1:39:43	特に更新について、
1:39:49	何だ、
1:39:51	まあ淡々とやってりゃいいですかね。そういうことですね。
1:39:57	違うのかな。
1:40:01	これ。
1:40:03	放送機構の構成相当です。

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:07	本来であればもうこういうのを勝手にやってくれっていう世界にしちゃったんちっちゃいけどね。
1:40:16	今回はこれ、何件出てくるんですか、全部で。
1:40:22	減少機構の
1:40:25	ページのところの、67 ページ、68 ページにあるという、
1:40:31	電源装置を気分電源装置ということになります。
1:40:42	一応類なんだ。
1:40:48	て類なんだけど、結局、
1:40:51	あれか。
1:40:53	だから、
1:40:54	宇部と一緒か。
1:40:58	来求められる機能が落ちてるんだこれ、もう。
1:41:03	そういうことか。
1:41:11	すごい結構、
1:41:38	の事故時計測機能はもうないんだねこれ全部。
1:41:44	高レベルはＨｏｗ以外はないっていう理解でいいんですかこれ。
1:41:50	そういう理解になってます。
1:41:53	そうなると、だから現状の耐震区分はＡ類なんだけれども、
1:41:58	これにもう１列加えて、いわゆる、
1:42:03	現在、要求される。
1:42:08	安全機能として見た場合に、安全機能自体がもうすでに落ちていて、耐震重要度分類もう、もう１回フローで見直すと。
1:42:20	もうすでにもうシールになってるっていうこと。
1:42:25	はい。その通りでございます。
1:42:28	不明と同じパターン。
1:42:31	どうする。
1:42:37	落とすっていう計画する。それで出そうとしてるのは、
1:42:47	65 ページ、65 ページ、ここの見て電流を使って、
1:42:54	原子力機構の中原です少し補足させてください。はい。江藤。
1:43:00	この辺の封緘設備に関しましてはおっしゃられるように、事故時の乾式に該当しないということで、
1:43:10	分類考えるとＣでかつて

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:16	そういった指針関係とか考え方ができる前に建設されていますので、間一通り無条件でＡにしてたという過去の大昔の経緯がありますので、
1:43:29	それが項目としては残ってる部分が一部あるというそういう状況でございます。なるほどですから
1:43:36	最終段階になって今の機能に照らすとというのもあるんですが、イシイに入る前からそもそもそういう整合が生じていた。
1:43:47	そういうものもありますその両方というところかなと思います。なるほど。
1:43:54	そういうことですか。
1:43:56	そうですので、今回のこれはそもそも運転、
1:44:00	していた時点であっても、例えば六ヶ所なんかんと照らしてもやはりそういった事故時の株式の高騰しないものばかりですので、そう思うし、
1:44:11	季節というのはそういった位置付けのもので、
1:44:15	わかりました。
1:44:16	わかりました。だから今回そもそもＣに落とすっていうやつをやるっていうことで、いや、いや、
1:44:23	はい、わかりました。井口さん。
1:44:26	理解しました。細見課長補佐。
1:44:31	はい。
1:44:33	じゃあこれでいきましょう。
1:44:39	現状形状のカトウですがよろしいでしょうか。
1:44:45	はい。よろしければ、最後に、スケジュールのご説明をお願いします。
1:44:51	はい。原子力機構の石田からステージの方説明させていただきます。
1:44:56	本日、5 月 25 日ということでＳＦの搬出、それからガラス固化処理の進捗状況等について説明させていただきました。
1:45:06	ＳＦの話につきましては 6 月末の申請書提出を予定しておりますので、そちらに向けて、概ね 2 週間に一遍程度の面談の方を継続して進めさせていただければと考えております。
1:45:20	ガラス固化の進捗状況につきましては 6 日の会社の会合に向けまして、来週ですね、もう一度、面談の方を入れさせていただければと思っております。
1:45:29	簡単ですがスケジュールについては以上です。
1:45:40	原子炉規制庁の方でご説明ありがとうございました。
1:45:46	すいません確認なんですが、次回能面えと会合では、説明するのガラス固化の状況のみということでよろしいですか。
1:45:57	はい、原子力機構の石田ですはいそうです。

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:03	わかりました。劇症型ですわかりました。
1:46:07	あとですね申請の
1:46:11	すみません申請の定住関係なんですけれども、
1:46:17	政府の搬出の話があると思うんですがあれは廃止措置計画と事業指定の変更があると思うんですけれども、と同じタイミングで出すことで考えてるってことでよろしいですか。
1:46:33	はい。減少機構の石田です。はい。同じタイミングで出したいと考えております。
1:46:39	原子炉規制庁の加藤です。こちらの感覚としては、事業指定は、廃措置計画はもうすでに
1:46:52	現状現状というか、現状の流れに合わせても変わっているので、廃止措置計画だけ先行して出してもらって、事業指定の変更については、ちょっとこちらも整理が必要なので、
1:47:04	それを待ってから申請って形もいいんじゃないかなというふうに考えてるんですけれども。
1:47:09	ぼけ県と鏑木先生、大家。
1:47:13	うん。燃料の話は、
1:47:17	その点についてはどうでしょうか。
1:47:21	だから結局その事業指定変更が、さっき武市さん説明してくれたけども、廃止措置の変更やる時に合わせてやっちゃえばよかったってかもう、結果的に遅くなっちゃったので、
1:47:32	もう廃止措置の方は認めてる状況にはなるんですけれども、大元の事業支店が認めていないから、それをフィッティングさせなきゃいけないと、
1:47:43	ただしやっぱり事業指定等で上位規定なので、それなりの点数引き込まなきゃいけないと思うんすよね。僕らは僕らその法規の方に一応念のため確認はしますが、
1:47:54	兼務らーにも多分これすそしっかり説明しなきゃいけないと思うんすよ。その国と何を揉めたかっていう話を含めて、多分説明しないと、
1:48:07	まずいことにならないですかねと。だから、正直だからさっきも何言った通りですよ。要は保税倉庫から出る直前に許可が出ればいいわけですから、変な話ですけど、
1:48:20	もうだから国連の工事はやっていいですよ。はいそっちの中でやっちゃいますから。だけど、実際に出す出さないっていう話。
1:48:29	については、ちょっと待ってもいいのかなという気がしますけど。

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:34	うちの表内の見解をある程度整理をしたところで、しっかり面談で皆さんの方には伝えて、その上で、刀剣村に対して、特に等を相談した結果こういう結果になりましたと。
1:48:50	なのでヨーロッパで少しちょっとやらさしてもらいますと、
1:48:57	そうすると帰ってきたのどうすんのとか聞かれると思うんでそれはちょっと別の話としてちょっとやってくださいって話なんですけど、さらにそれを俺コミットできないから、
1:49:07	うちの方からやってくれれば、
1:49:10	とはいうハンド冗談ですけど、そそういう問題じゃないかなと思うんですけど。
1:49:18	はい。20 話しましたクリーン関係の工事、もう排出権の関係にしてちょっと考えたんですが、今おっしゃられた位置付けで、理解しましたので、事業指定の
1:49:32	申請時期についてはちょっと、もう少しじっくりと議論した上で、ちょっと考え直したいと思います。
1:49:45	はい。原子炉規制庁の加藤です。他、規制庁側から何かありますでしょうか。すみません。
1:49:52	はい、衛藤原子力飽和か何かありますか。
1:50:01	良好クリタです。はい。
1:50:04	工程洗浄についてなんですが先週に変えてありがとうございました。自治体との同意については今調整中ではあるんですが、まだ、
1:50:19	同意に至ってないという状況になってます。それと、工程洗浄の核物質の回収になるので、嵯峨さんの派遣のスケジュールもあってですね、
1:50:33	結構事前に開始時期を決めなきゃいけないというところもありまして、
1:50:38	今の事業者側のもくろみとしては 6 月 8 日、
1:50:47	予定で今自治体との調整後ＩＡＥＡ側との調整で動いているという状況になります。補を、
1:50:59	報告として、以上です。
1:51:04	見せる。
1:51:08	もうあれだよ、クリタ軍団はもう手薄に引いてもらってんじゃないの。
1:51:16	根井。
1:51:18	一応ですね準備としてはほぼ力てはいるんですがセル内のマニピュレーター操作とかありますので、習熟度向上を図る訓練をちょっと重ねているという状況です。
1:51:33	ナカノうまいこと言いますねだからさ、中尾常務な逃げのコメントさすが副センター長。

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:41	はい、わかりました。いずれにせよですよと、ちょっとここ今回の件はですね、ちょっとうちのいろいろなＩＦもありまして、ちょっと大変失礼いたしましたと。
1:51:54	いう話本当は連休前に出せたんですけど、どうしてもやっぱり連休明けにならざるをえなかったっていう話でですね、
1:52:04	すいませんでしたと、まず一言をお詫びしておきます。ただいかんせん工程洗浄については、うちの下部ともども全部希釈させる
1:52:18	薄い廃液で行うものであって、
1:52:21	特に問題がないという話等ＳＧとも、もうすでに連携もとれて、
1:52:26	いわゆる有価物問題もう特に問題ありませんという話ですよね。規制庁があるとすれば、もうどうぞやってくださいっていう世界まで起きたので、
1:52:38	あとはもうだんだんとぜひ、
1:52:42	よろしくお願いします。もうこれしかないですね。もうこれこれがもう補助分流なんで、本来やるべき話なんでこれ。
1:52:49	はい。
1:52:50	わかりました。
1:52:56	金城カトウです他よろしいでしょうか。
1:53:00	はい、以上になります。
1:53:02	はい。それでは本日の面談中は、最後の資料、
1:53:08	除去、今日、とりあえず説明。
1:54:00	あ、すみません会合の資料に関してなんですけれども、ちょっと後でちょっとあとで、ちょっと星さんと調整したいし、させてもらいたいと思いますんで、後でちょっとまた連絡します。
1:54:19	以上でよろしければ、本日の面談終了にしたいと思います。
1:54:24	本当はどうもありがとうございました。ありました。
1:54:27	ありがとうございました。どうもありがとうございました。

※１　音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
　　発言者による確認はしていません。
※２　時間は会議開始からの経過時間を示します。